

【県議会で質問を実施しました！】

2月22日（木）に県議会でわたなべが議会質問を実施しました。大綱6点について質問し、わたなべの提案が多数採用され、翌日の河北新報朝刊に大きく報道されました。

仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合に係る施設整備費 26 億円を含む第1号議案（令和6年度の宮城県総予算1兆238億円）について、野党議員は4病院再編の内容に反対だとして、予算案全体を否決していました。

一方、わたなべは、①4病院再編関係予算は新病院建設費の積立に過ぎないこと、②対案もなしに県政に関係する全予算に反対するのは無責任であることから、県政与党議員として賛成しました。

村井知事は、県立がんセンターが担ってきた「希少がん・難治がん」治療を手放そうとしています。県民本位の政策医療維持のため、引き続き、議会で戦って参ります。

【大綱6点の質問結果】

1.非常時の特別規定に関する地方自治法改正（国による地方への指示）について

→危機管理は法改正ではなく、憲法改正による**緊急事態条項**をと提案。

2.ダム、港湾のサイバーセキュリティ対策について

→**ダム、港湾ともに、来年度よりランサムウェア攻撃を想定した訓練、業務継続計画・BCP にサイバー攻撃対策の追補を訴え実現！**

3.県立高校等へのマンホールトイレ整備について

→県立高校や「宮城野原総合運動場」に下水道に直結するマンホールトイレ設置へ！

4.中小ものづくり企業奨学金返還支援事業について

→中小ものづくり企業へ就職した方の奨学金債務について、最大で6年間にわたり、県と就職先企業で折半して総額270万円給付が決定。令和6年4月から協力企業募集、令和7年4月から給付開始に決定！

5.半導体産業の振興について

→半導体分野の県ビジョン策定を提言し、令和6年度中の策定決定！半導体人材育成・確保支援、半導体工場による水資源への負荷低減を提言。工業高校実習室のエアコン整備決定！

6.4病院再編について

→仙台赤十字病院と県立がんセンターのいずれが経営主体となった場合に収支が改善するかのシミュレーション比較（日本経営に委託）が存在するものの、県は結果を非開示（！）。再編による割増退職金・給与など「見えないコスト」も提示すべき。日本赤十字社主導で希少がん・難治がん等の政策医療は維持できるのか。



半導体ビジョン

新年度内策定へ

県議会一般質問 工場進出に対応

県議会2月定例会は22日、一般質問を続けた。大

内には「ビジョン」を2024年度内に策定する方針を示した。村井嘉浩知事は「工場進出による経済効果を高めるために重要だ」と述べた。

仙台医療圏4病院の再編構想で、村井知事は、県立精神医療センター（名取市）が移転する富谷市と、仙台赤十字病院（仙台市太白区）と県立がんセンター（名取

誘致可能な企業の情報収集や必要なインフラ整備などを調査。企業に委託し、既に半導体大手が進出した他県の事例や県内にある関連企業の状況などをまとめた資料を作る。

野原公園総合運動場（宮城野区）への設置に向け、市と協議する意向を示した。

市）を統合した新病院がで

渡辺重益（自民党・県民会議）平岡静香（みやぎ県民の声）渡辺拓（自民党・県民会議）の4氏が登壇した。

現職の山田氏 3選出馬表明

白石市長選
任期満了（11月13日）に伴う白石市長選で、現職の山田裕一氏（48）は22日、3選を目指して無所属で立候補することを正式に表明し

「がん治療は政策医療ではない」村井知事が発言

22日の県議会2月定例会一般質問で、仙台医療圏4病院

の再編構想に絡み村井嘉浩知事は「がん治療は政策医療という段階ではないと思っ

た。構想は仙台赤十字病院（仙台市太白区）と県立がんセンター（名取市）を統合し、日赤が運営する新病院を名取市に整備する。発言は、現在センターで対応する希少がんや難治がんの治療を、新病院が

責任放棄？

議員「失言だ」

継続するかどうかの質疑の中であった。

村井知事は「センターができた時はがん治療をする病院が県内ではほとんどなかったが、今はそうではない」と強調。 「一歩踏み込む改革をすることが将来の県民のためだ」と、再編を機にがん分野

の政策医療を手放す意向をに

「再編構想の出発点となった、がんセンターの在り方に関する有識者会議が2019年にまとめた報告書には、希少がん、難治がんなど民間では限界のある分野について「今後必要な機能は県の責任において維持する必要がある」とある。